

富士大学研究者情報

経済学部経済学科

教授

齋藤 義徳

さいとう よしのり

研究者基本情報

最終学歴	東北学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学
取得学位	修士（文学）
学位取得年月	平成6（1994）年3月
出身地	宮城県
専門分野	英文学・英語教育
担当科目	総合英語（上級、初級）教養演習、専門基礎演習、国際コミュニケーション演習、文化経済学特論
所属学会	日本英文学会、大学英語教育学会、言語人文学会
長期研究テーマ	喜劇の持つ特性・本質。文学批評理論。求められる大学英語教育。文化経済学。
短期研究テーマ	笑いの場所・笑いの行方
1年以内に発表予定の研究業績	演劇の生誕と資本主義社会への浸透

研究業績（2021年3月末日現在）

【論文】

1	「 <i>As You Like It</i> における喜劇の構造の再考察 ―その祝祭性の劇的効果を中心に―」『東北』（東北学院大学大学院文学研究科）第29号、1995年1月、29-44頁。
2	「シェイクスピア初期の喜劇における言語と行為の喜劇性」『東北』（東北学院大学大学院文学研究科）第30号、1996年1月、19-38頁。
3	「 <i>Measure for Measure</i> における公爵の視点の移動」『東北』（東北学院大学大学院文学研究科）第31号、1997年1月、27-42頁。
4	「Prosperoの真の力」『東北』（東北学院大学大学院文学研究科）第32号、1998年1月、17-34頁。
5	「シェイクスピア喜劇の笑い」『東北』（東北学院大学大学院文学研究科）第33号、1999年1月、1-18頁。
6	「「Precarious Delight in <i>A Midsummer Night's Dream</i> 」（英文）『富士大学紀要』第32巻第2号、2000年3月、143-158頁。
7	「The Concept of Shakespeare's Comedies: A Re-statement of Laughter」（英文）『富士大学紀要』第35巻第2号、2003年3月、115-150頁。
8	「大学教育における問題の明確化と授業改善のための一考察」（共同）『富士大学紀要』第38巻 第1・2合併号、2006年3月、171-184頁。

9	「A study of Redefining Motivation in L2 Learning」 (英文) 『富士大学紀要』第39巻第2号、2007年3月、37-46頁。
10	「After Instrumental-Integrative Dichotomy」 (英文) 『富士大学紀要』第41巻第2号、2009年3月、59-75頁。
11	「Possible Selves as Individual's Ideas over Culture Learning: Reconceptualizing Motivation in Second Language Acquisition」 (英文) 『富士大学紀要』第43巻第2号、2011年3月、61-83頁。
12	「A Study of Tragic Relief in Shakespeare's Middle Comedies」 (英文) 『富士大学紀要』第48巻第2号、2016年3月、67-85頁。
13	「Efficacious Potential of Tragic Relief in Shakespeare's Comedies」 (英文) 『富士大学紀要』第50巻第2号、2018年3月、79-103頁。
14	「脱構築の行方と新歴史主義」 (研究ノート) 『富士大学紀要』第51巻第1号、2018年8月、93-106頁。
15	14 「The Structure of Pastoral Theory in <i>As You Like It</i> 」 (英文) 『富士大学紀要』第51巻第2号、2019年3月、41-63頁。

【その他の執筆】

1	「文学批評の歴史」 『富士大学 星辰』第90号、2017年3月、24-39頁。
---	---

【学会発表】

1	「As You Like It における喜劇の構造の再考察 —その祝祭性の劇的効果を中心に—」 大学院英文学専攻課程協議会第28回大会、1994年11月。
2	「シェイクスピア初期の喜劇における言語と行為の喜劇性」 東北英文学会第50回大会、1995年9月。
3	「Measure for Measure における公爵の視点の移動」 東北英文学会第51回大会、1996年9月。
4	「Prosperoの真の力」 東北英文学会第52回大会、1997年10月。
5	「シェイクスピア喜劇の笑いの特徴」 東北英文学会第53回大会、1998年9月。
6	「視覚障害をもつ生徒の自宅学習支援用ソフトウェア開発のためのニーズ調査」 共同研究発表・日本福祉工学会、2004年11月。
7	「大学教育における問題の明確化と授業改善のための一考察」 共同研究・日本福祉工学会、2005年11月。
8	「脱構築と新歴史主義における問題への序論」 平成30年度言語人文学会、2018年8月。

【内外における公開講座等の講師】

1	平成26年度 第31回富士大学花巻市民セミナー発表 「ものの捉え方と文学批評——文学批評の歴史を中心に——」、2014年10月。
2	平成26年度 SSH特別講義 (水沢高校) 「ロシアフォルマリズム以降の文学批評の変容」、2014年11月。